

# ヒナノキンチャク

*Polygala tatarinowii* Regel

ヒメハギ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

絶滅危惧 I B 類

## 選定理由

県内における生育地が極めて限られ、個体数も少ない。(現況:RO)

## 形態

一年生草本。茎は基部から分枝し、高さ7~15cm。葉は長さ1~3cm、全縁で縁に細毛がある。花は淡紫色で、径2mm内外と小さく、茎頂に細長い密な総状花序をつくる。さく果は片側につき、扁平な円形で径約3mm。

## 国内分布

本州、四国、九州。

## 県内分布

口能登区。

## 生態など

花期は7~10月。平たくて丸い果実をお雛様の持つ巾着に見立てて、その名がある。

## 生育環境

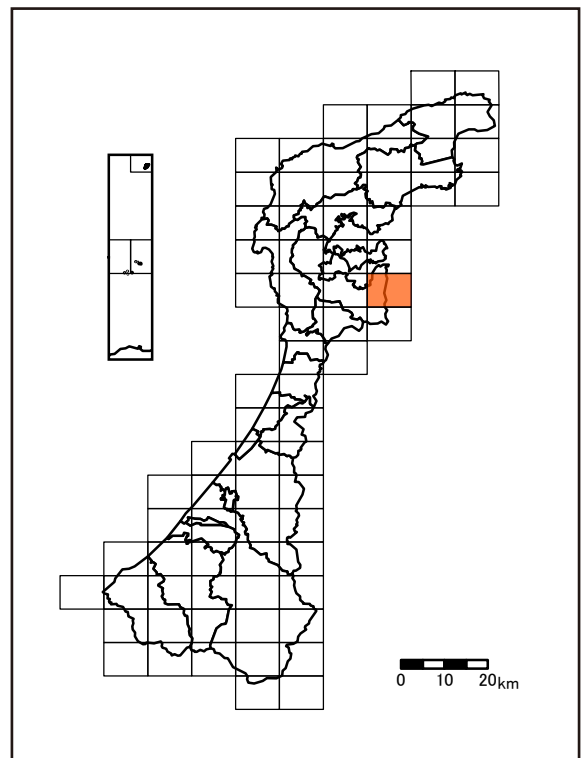
山ろくの草地。

## 危険要因

農薬汚染(除草剤)、管理放棄、自然遷移、産地局限。



小野ふみゑ・2006年8月25日・能登



県内の分布